

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

【表紙黄色】量の見込みと確保方策

該当課係	ページ	区分	質問・意見	回答
子育て支援係	全体		表の見方について、令和5年度をブルー、令和6年度を黄色で表示しているが、進捗状況は、令和5年度（ブルー）の進捗状況に思える。また、課題も達成度も同様に、年度別に色を変えているようなら、統一感がある方が見やすい気がしました。	管理票の形式等については、新たな計画（令和7年度から）にあわせて改められるよう、来年度に実施する子ども・子育て会議の場において委員の皆様と一緒に検討していきます。
子育て支援係	全体		各資料の「達成度」の基準はなにか。	現在は、個別の状況を総合的に考慮して担当課が自己評価している状況です。来年度は新たな計画の策定年度となりますので、評価基準について、子ども・子育て会議の場において委員の皆様と一緒に検討していきます。
保育・幼稚園係	1	1号認定	進捗状況の子ども・子育て支援新制度移行について、如意輪幼稚園は未移行となっているが、どのような理由で移行ができていないのか。	施設からは、公定価格の水準による収入面での不安や、新制度への移行に伴う事務の変更や増大に不安があると聞いています。
保育・幼稚園係	5	延長保育事業	今年度は実利用者数が132名とあるが、来年度の利用希望者が93名で随分少なくなっているのは何か理由があるか。 また、延長保育の時間帯は全ての園で共通か。 どのくらいの延長をされているのか。	来年度の利用希望者数は、子ども・子育て支援事業計画の量の見込みを記載しています。 延長保育の時間帯は各園で設定しており、標準時間の延長保育時間帯は、びよびよ保育園が午前7時から7時30分及び午後6時30分から午後8時、南平保育園が午後6時から午後8時、瑞穂のぞみこども園は延長なし、ゆめのもり保育園は午後6時30分から午後7時30分、それ以外の園は午後6時30分から午後7時となっています。

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

<p>保育・幼稚園係</p>	<p>6</p>	<p>放課後児童健全育成事業(学童保育クラブ)</p>	<p>放課後児童健全育成事業の課題に老朽化した施設の整備とあるが、どのような整備を考えているのか。</p>	<p>学童保育クラブの整備については、今年度は西松原学童の空調機の交換及びあすなろ学童保育クラブ分室の非常通報装置の交換を行いました。施設の耐用年数や各学童保育クラブの待機児童の状況も勘案し、今後の施設整備を検討していきます。</p>
<p>健康課</p>	<p>8</p>	<p>乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん)事業</p>	<p>進捗状況欄に、事業を通して抽出された課題にサービスが不足しているとあるが、どのような課題があるのか。</p>	<p>本事業の実施を通じて、家事援助に対するニーズや、複数の子どもを持つ家庭での外出支援のニーズに対して、サービス提供量が不足していることが分かっています。</p>
			<p>乳児家庭全戸訪問の課題について、4番目に外出支援のニーズに対応するサービスが不足していることがわかったとあるが、達成度は「A」となっている。不足を補う支援の見通しはどうなっているのか。</p>	<p>児童福祉法等の改正により、区市町村は、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関(こども家庭センター)の設置に努めることになりました。町は令和6年度中に母子保健機能(子育て世代包括支援センター)と児童福祉機能(こども家庭支援センター)を統合し、「こども家庭センター」を開設する予定です。こども家庭センターの業務には、これまで両センターで実施してきた相談支援等の取組に加え、支援を要する子ども・妊産婦等へのサポートプランの作成や支援体制の充実・強化を図るための地域資源の開拓も含まれてきます。今回、乳児家庭全戸訪問で表出した課題については、こども家庭センターを開設し、業務を遂行する中で対応していくこととなります。なお、乳児家庭全戸訪問の達成度については、訪問実施率が100%であることをもって「A」評価としています。</p>

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

<p>保育・幼稚園係</p>	<p>12</p>	<p>病児保育事業</p>	<p>課題に周知とあるが、現状において周知をしていると思うが、その周知が、また、課題として挙げられていることから、新たな周知の方法を考える必要があると思う。何か考えはあるか。</p>	<p>制度開始時には、各保育園等を通じてお知らせを配布しました。また例年の周知としては、広報、ホームページ、子育てほっとブック内の掲載、窓口でのチラシ配布、問い合わせ時のご案内を行っています。 民間のアプリを活用した通知等、他媒体による発信についても検討していきます。</p>
<p>子ども家庭支援センター係</p>	<p>13</p>	<p>子育て援助活動支援</p>	<p>子育て援助活動支援事業における課題において、提供会員の確保とありますが、更なる提供会員を確保するアイデアはあるか。</p>	<p>広報等での周知のほか、依頼会員だった卒育者に対し、声掛けを行っています。また、現役の依頼会員に対しても両方会員にもなれる旨説明を行っています。</p>
<p>保育・幼稚園係</p>	<p>15</p>	<p>実費徴収に係る補足給付を行う事業</p>	<p>課題に周知とあるが、現状において周知をしていると思うが、その周知が、また、課題として挙げられていることから、新たな周知の方法を考える必要があると思う。何か考えはあるか。</p>	<p>ホームページ、子育てほっとブック内の掲載、入園決定通知にお知らせを同封するなどにより周知を行っていることに加え、在園児のうち対象となりうる方には個別に申請依頼を通知しているため、在園児童保護者に対する周知は十分にできていると考えています。 これから保育園等入園を検討されている方に対しては、民間のアプリを活用した通知等、他媒体による発信についても検討していきます。</p>

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

【表紙桃色】計画の体系

該当課係	ページ	区分	質問・意見	回答
子育て支援係	全体		各資料の「達成度」の基準はなにか。	現在は、個別の状況を総合的に考慮して担当課が自己評価している状況です。来年度は新たな計画の策定年度となりますので、評価基準について、子ども・子育て会議の場において委員の皆様と一緒に検討していきます。
子育て支援係	全体		計画の体系で、令和5年度の目標と進捗状況があり、令和6年度の隣に黄色で課題と達成度がある。できれば、横軸で、令和5年度（目標・進捗状況）⇒令和6年度（目標・進捗状況）⇒課題（達成度）ではなく、令和5年度（目標・進捗状況）⇒（令和5年度の目標と進捗状況を受けた）課題（達成度）⇒令和6年度（目標・進捗状況）にした方が見やすいのではないかと思います。	管理票の形式等については、新たな計画（令和7年度から）にあわせて改められるよう、来年度に実施する子ども・子育て会議の場において委員の皆様と一緒に検討していきます。
健康課	1	基本目標1 (1)①4	健康課アプリとはなにか。	「子育てナビ ワクワクみずほ」というアプリです。スマートフォン、パソコン、タブレットからアクセスし、お子さんの生年月日を登録するだけで予防接種のスケジュールが自動作成されます。また、サイトでは町の子育てに関連する情報を掲載しているほか、ご希望の方には情報配信も行っています。お子さんの成長記録などを残せる電子母子手帳としても使用できます。

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

子ども家庭支援センター係	2	基本目標1 (1)②2	ファミリー・サポート・センターの充実について、課題に研修成果を踏まえた改善の継続とあるが、研修の成果を教えて欲しい。	講師を招き、「子どもの心の発達とその問題」「保育のこころ」「障がいのある子どものサポートについて」「救命講習」等の講習会を行っています。 参加者からは「子どもとの関わり方の基本を学ぶことができた」、「関わり方次第で心の成長が変わっていくことにとっても興味を持つことができた」等の感想をいただいています。
子ども家庭支援センター係	2	基本目標1 (1)②3	<p>虐待リスクをかかえる家庭は増えているか。</p> <p>育児支援ヘルパー事業の充実について、育児支援ヘルパーの派遣実績はないと記載されているが、1件もないのはなぜか。 専門的支援に加え派遣するなどしてサービスの提供のハードルを緩めることが必要かと思うが、どう思われるか。</p>	<p>瑞穂町の新規相談受理件数は、令和3年度197件、令和4年度207件、令和5年度2月末現在233件となっており、年々増加しています。</p> <p>この事業は育児・家事援助を行うことにより、養育環境を改善し、児童虐待を防止することを目的としており、対象者は若年妊婦及び望まない妊娠等の妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭、不適切な養育状態にあり虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭等です。 広報等を行い利用してもらおう事業ではなく、申請に基づく派遣であるため保護者の同意が必要になり実施件数は少なく、令和5年度は利用実績がありません。 サービスの提供のハードルを緩めて進んで利用していただくのではなく、親族支援や他のサービスに繋げることができるよう努めています。</p>

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

<p>健康課 児童館係 子ども家庭支援センター係 関係各課</p>	<p>8</p>	<p>基本目標1 (3)①1</p>	<p>父親の育児への参加促進について、両親共に働いているのがスタンダードになっているのでこのような事業は土日祝日を主に開催すべきと思う。</p>	<p>健康課（保健係）：現在、両親学級の4日目は父親の育児参加を促す内容で土曜日開催としていますが、参加率が伸びていない実態があります。全日程を土・日曜日、祝日にしたとしても、参加できない方は一定数いると推測されます。そのため、仕事等で事業に参加できない方についてもフォローできるよう、父親向けの啓発教材の提供方法について検討を始めています。 子ども家庭支援センター係：土曜日事業について今後検討していきます。なお、子ども家庭支援センターで行った「子育て講座」等の事業には父親の参加もありました。 児童館係：状況を判断し、研究していきます。</p>
<p>健康課</p>	<p>11</p>	<p>基本目標2 (1)②1</p>	<p>妊産婦への支援に課題欄について、「今後、産科医師による講座（両親学級）の実施などに影響する可能性がある」とのことだが、町外に住んでいた時に妊娠中の母親学級で産科医師の話を聞いたことがある。その話がとても印象に残っているので、なくなってしまうたら残念だなと思った。</p>	<p>現在、両親学級で産科医師の講話の時間を設けていますが、ベテランの医師のため、いつまでその医師にお願いできるか分からない状況です。町には他に産科医師がいないため、近隣の医療機関に声をかけ、町の事業に協力可能な産科医師を探すか、産科医師以外の講師に切り替えるかを早急に検討する必要があります。</p>
<p>健康課 関係各課</p>	<p>12</p>	<p>基本目標2 (1)②6</p>	<p>両親学級の充実について、両親共に働いているのがスタンダードになっているのでこのような事業は土日祝日を主に開催すべきと思う。</p>	<p>健康課：現在、両親学級の4日目は父親の育児参加を促す内容で土曜日開催としていますが、参加率が伸びていない実態があります。全日程を土・日曜日、祝日にしたとしても、参加できない方は一定数いると推測されます。そのため、仕事等で事業に参加できない方についてもフォローできるように、動画教材の提供について検討を始めています。</p>

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

産業経済課	13	基本目標2 (1)③1	「食」に関する学習機会の充実について、農業体験の実施とあるが、「農ウォーク」とはどのような催しなのか。また、回数を増やすことが考えているのか。	農ウォークとは、瑞穂町農業委員会が主催する事業で、町内を歩きながら、収穫体験や農家の方の話を聞き、畑や農業施設を見学する事業です。年1回の開催で、令和6年度は回数を増やす予定はありません。
保育・幼稚園係 教育指導課	20	基本目標3 (1)③1	幼稚園・保育園等と小学校との相互の交流の推進について、とてもいい機会だと思った。	幼児教育の充実につながるよう、今後も心理士を保育園・幼稚園に派遣を継続していきたいと考えています。
図書館 教育指導課	22	基本目標3 (2)①3	郷土資料館の活用について、けやき館の落語会に家族で参加した。子どもたちも含めてみんなとても楽しめた。しかし、子連れは我が家のみだった。とても勉強になるので小学校に落語家を呼んでイベントを組むなどして、もっと子供たちにも興味を持ってもらえたらなと思った。	図書館：情報共有しました。 教育指導課：教育委員会から各学校へ情報提供をしていきます。 実施については各学校での判断となります。
建設課	22	基本目標3 (2)①4	公園等の整備について、公園整備を考える会を設立したとあるが、構成メンバーはどのような方なのか。	「公園整備を考える会」の構成メンバーは、地元の町内会、小学校、幼稚園、保育園、都市計画審議会、箱根ヶ崎駅西土地地区画整理審議会の代表者です。
児童館係	23	基本目標3 (2)②1	児童館運営の充実について、児童館のイベントもSNSで発信してもらえたらと思う。 日曜日のイベントも可能な限り実施してもらえたらありがたい。	SNSでの発信について、FacebookとX（旧 Twitter）にて発信中です。 日曜日のイベント開催については、状況を判断し、研究していきます。

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

児童館係	23	基本目標3 (2)②1	<p>小学校では子供だけで学区外地域に行くのは禁止と聞いているが、高学年になったら可能なのか。</p>	<p>あすなろ児童館（移動児童館含む）に来館する際は、学校から一旦家に帰って（ランドセル等を置いて）から、来ることが約束（ルール）となっています。学校によっては、一年生は自転車に乗ることを控える等、独自のルールを決めていると聞いています。</p>
保育・幼稚園係 社会教育課	24	基本目標3 (2)③1, 2	<p>「科学であそぼう」は我が子も参加し楽しめたようだ。しかし、二小に通う小学3年生の息子は、普段の放課後子ども教室の内容に不満を感じ、参加しなくなってしまって残念に思う。子どもたちの個性にもよるのだろうが、「こんな工作つまらない、図工の時のようにのこぎりとか使いたい！」とのこと。時間も限られているし難しいとは思いますが、学年が上がってパソコン教室等に参加できるようになったらまた違うのかな、と感じた。せっかくの機会なので、親としては、なるべく参加してほしいと思う。二小でも回数を増やし、ダンスとか体操等、体を動かすことができる事業を企画してもらえたらと思う。</p>	<p>社会教育課：「科学であそぼう」は令和6年度も町内全校で実施する予定です。 工作教室は放課後子ども教室の時間内で作成できる内容としていますが、児童からの要望も聞き、スタッフとも調整を図りながら、可能な範囲で内容の幅を広げていきます。 体験教室は偏りなく全校で体を動かす教室を実施できるよう、実施日程、場所等について、引き続き学校と調整していきます。</p>
社会教育課	24	基本目標3 (2)③2	<p>放課後子ども教室について、昨年度から比べると各校実績回数がすごく増えて、学校の片寄りも減ったように思うが、何か対策をしたのか。</p>	<p>回数の増加については、新型コロナウイルス感染症の制限緩和によるものと、学校によってはパソコン教室を3学年同時に受け入れられるようにしました。</p>

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

<p>保育・幼稚園係</p>	<p>24</p>	<p>基本目標3 (2)③3</p>	<p>期間限定保育は夏休みだけなのが不思議だ。勤めている人にとっては春休みと冬休みも学童保育は必要かと思う。</p>	<p>近隣市町では、29市町中7市町（瑞穂町含む）で期間限定保育を実施しています。その中で、春休み及び冬休みの期間限定保育を実施しているのは2市のみです。 期間限定入所については、夏休みの間だけ預けたいという希望が多いため開始しました。一方で、冬休み及び春休みの希望は少ない状況です。登所人数増による支援員の配置増等による学童保育クラブ運営費の増額も考えられることから、現時点で春休み及び冬休みの実施は考えておりません。</p>
<p>社会教育課</p>	<p>25</p>	<p>基本目標3 (3)①1</p>	<p>地域における人材の育成について、活用で総合人材リストとあるがどのような仕事を紹介してるのか。問い合わせ5件とはあまりにも少ないように感じる。周知方法もだが、内容等も検討すべきと思う。</p>	<p>総合人材リストは、さまざまな分野で知識・経験をお持ちの方に登録していただき、町が人材リストの利用希望者への橋渡しを行う制度です。芸術、自然・歴史、家庭、福祉、スポーツなどの分野で70件の登録があります。 広報、ホームページ、生涯学習推進団体の登録等で定期的に周知していますが、協働推進課とも連携しながら、効果的な周知について検討していきます。</p>
<p>福祉課</p>	<p>26</p>	<p>基本目標3 (3)②1</p>	<p>おひさまキッチン、ぜひ二小でもお願いします。</p>	<p>多世代間交流事業おひさまキッチンは、現在、第一小学校、第三小学校、第四小学校の3校で実施しています。今後も開催地区を拡大していく予定です。</p>

子ども・子育て会議事前質問等に対する回答一覧

資料

建設課	29	基本目標4 (1)②1	公園・緑地の環境整備について、松原中央公園の大人向けの健康器具の中で、説明には吊り輪がついているのに、実際はついていない。壊れたのがそのまま放置されているのか、外されたのか不明だが、つけて欲しい。	松原中央公園の健康器具の説明と現状が異なっているのは、確認しました。毎年、公園遊具等点検を実施していますが、この健康器具（トレーニングステーション）は、異常があり修繕または対策が必要と判定されています。危険性もあることから、令和6年度に撤去する方向で考えているため、吊り輪は付けることができません。
デジタル推進課 子育て支援係 保育・幼稚園係 児童館係	1, 3, 23	基本目標1 (1)①3 基本目標1 (1)③1 基本目標3 (2)②1	子育て支援情報の提供、子育て広場の拡充及び児童館運営の充実について、課題にある「効果的な情報提供方法」について、各種SNSが有効かと思う。	子育て支援係：SNSについて、町では現在エクストフェイスブックで公式アカウントがあり、そこから情報を提供しています。情報は、多種多様な媒体で提供することが望ましいと考えていますが、民間のアプリを活用した通知等、他媒体による発信についても検討します。 児童館係：FacebookとX（旧 Twitter）にて発信中です。
福祉課	1, 26 27, 38	おひさま キッチン	おひさまキッチンの手伝いに参加しているものとしての意見 「食材については、当初持ち出しも多く、現在も継続するにあたって、資金的には厳しい」、「ネグレクト状態で、朝食をとっていない、あるいは、いつも孤食等の本当にサポートが必要な児童が参加できているかどうかは不明」といった課題がある。聞き取り調査が大変などの事情があるかもしれないが、そのあたりに触れられていない状況で、達成度の判定を出しているのは、いささか不明瞭に感じる。	おひさまキッチンは地域の子どもから高齢者までの交流やコミュニティの活性化に向け、多世代間交流事業として実施しています。ネグレクトや両親の多忙による孤食等の子どもはもちろん、その他の子どもや高齢者等も対象に活動しており、ネグレクト等の子どもが誰で何人来ているのかは、個人情報やプライバシー保護の観点から特定はしていません。ご理解をお願いします。